

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和2年2月6日(2020.2.6)

【公表番号】特表2019-509303(P2019-509303A)

【公表日】平成31年4月4日(2019.4.4)

【年通号数】公開・登録公報2019-013

【出願番号】特願2018-549461(P2018-549461)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/25 (2006.01)

A 6 1 K 8/39 (2006.01)

A 6 1 K 8/894 (2006.01)

A 6 1 K 8/86 (2006.01)

A 6 1 K 8/49 (2006.01)

A 6 1 Q 1/00 (2006.01)

A 6 1 Q 1/06 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/25

A 6 1 K 8/39

A 6 1 K 8/894

A 6 1 K 8/86

A 6 1 K 8/49

A 6 1 Q 1/00

A 6 1 Q 1/06

【誤訳訂正書】

【提出日】令和1年12月23日(2019.12.23)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

生理学的に許容される媒体中に、少なくとも1つの脂肪相と、HLBが3から7の間であり、800を上回る分子量を有する高分子界面活性剤の少なくとも1つの有効量によって安定化された少なくとも1種の水溶性天然染料又は天然由来染料を含有する水性相とを含む組成物であって、HLBが3から7の間であり、800を上回る分子量を有する高分子界面活性剤の少なくとも1つの有効な更なる量、又は、HLBが3から7の間であり、800を上回る分子量を有する高分子界面活性剤の少なくとも1つの有効な更なる量及び疎水性シリカエアロゲル粒子から選ばれる少なくとも1種の特定のフィラーの少なくとも1つの有効量、を更に含有する、組成物。

【請求項2】

HLBが3から7の間であり、800を上回る分子量を有する高分子界面活性剤の少なくとも1つの有効な更なる量、及び疎水性シリカエアロゲル粒子から選ばれる少なくとも1つの特定のフィラーの少なくとも1つの有効量を含有する、請求項1に記載の組成物。

【請求項3】

前記の更なる高分子界面活性剤又は前記フィラーが、任意にデフロキュレーターにおいて、大気圧で95 ～ 98 において5時間加熱した場合に、前記組成物の安定性を保証するのに有効な量で存在する、請求項1又は2に記載の組成物。

【請求項 4】

前記組成物の総質量に対して1質量%以上の含有量の高分子界面活性剤を含むことを特徴とする、請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 5】

前記組成物の総質量に対して2質量%～7.5質量%の高分子界面活性剤を含むことを特徴とする、請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 6】

前記の更なる高分子界面活性剤が、1000を上回る分子量を有する、請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 7】

前記の更なる高分子界面活性剤が、4500～15000の範囲の分子量を有する、請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 8】

前記の更なる高分子界面活性剤が、3～6.5の範囲のHLB値を有する、請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 9】

前記の更なる高分子界面活性剤が、ポリリシノレイン酸ポリグリセリル類、ポリオキシアルキレン化親水性側鎖基及び/又は末端基を有するポリジアルキルシリコーン類、並びにポリオキシアルキレン化グリコール型の脂肪酸エステル of 乳化性ポリマーから選ばれる、請求項 1 から 8 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 10】

前記の更なる高分子界面活性剤が、ポリリシノレイン酸ポリグリセリル類から選ばれる、請求項 1 から 9 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 11】

前記の更なる高分子界面活性剤が、アルキルジメチコンコポリオール類から選ばれる、請求項 1 から 9 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 12】

前記の更なる高分子界面活性剤が、 $C_{10} \sim C_{18}$ 脂肪酸アルキルポリオキシエーテルから選ばれる、請求項 1 から 9 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 13】

前記特定のフィラーが、0.5以上の、特定のフィラー/水性溶媒媒体の質量比で存在する、請求項 1 から 12 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 14】

前記フィラーが、単位質量当たりの比表面積(SM)が $500\text{m}^2 \sim 1500\text{m}^2/\text{g}$ の範囲であり、平均直径(D[0.5])として表されるサイズが $1\mu\text{m} \sim 30\mu\text{m}$ の範囲であり、且つ/又は湿潤点で測定される吸油能が粒子1g当たり5ml～18mlの範囲である、疎水性エアロゲル粒子で形成される、請求項 1 から 13 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 15】

前記疎水性シリカエアロゲル粒子が、トリメチルシロキシルシリカ粒子である、請求項 1 から 14 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 16】

前記組成物の総質量に対して少なくとも0.1質量%のシリカエアロゲル粒子を含むことを特徴とする、請求項 1 から 15 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 17】

前記水溶性染料が、オルト-ジフェノール誘導体である、請求項 1 から 16 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 18】

前記組成物の総質量に対して0.1質量%～10質量%の水溶性天然染料又は天然由来染料を含むことを特徴とする、請求項 1 から 17 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 19】

前記水性相が、0.02質量%～20質量%の範囲の量で存在する、請求項1から18のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項20】

前記脂肪相が、前記組成物の総質量に対して99.9質量%～60質量%の範囲の量で存在する、請求項1から19のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項21】

ケラチン物質をメイクアップするための製品を形成することを特徴とする、請求項1から20のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項22】

固体であることを特徴とする、請求項1から21のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項23】

ケラチン物質をケア及び/又はメイクアップするための美容方法であって、請求項1から22のいずれか一項に記載の組成物を前記ケラチン物質に対して適用することを特徴とする、美容方法。

【請求項24】

請求項1から22のいずれか一項に記載の化粧用組成物の調製方法であって、少なくとも、

i) HLBが3から7の間であり、800を上回る分子量を有する、高分子界面活性剤の少なくとも1つの有効量によって安定化された、水溶性天然染料又は天然由来染料を含む中間体エマルジョンを提供する工程、
ii) 化粧品基材を提供する工程、
iii) HLBが3から7の間であり、800を上回る分子量を有する少なくとも1種の高分子界面活性剤の更なる量を提供する工程、
iv) 工程i)に由来する前記中間体エマルジョンと、工程iii)に由来する前記界面活性剤と、工程ii)に由来する前記化粧品基材とを一緒にする工程
で構成される工程を含み、
前記一緒にする工程iv)は、1回の操作で実行することができ、又は連続的工程を介して実行することができる、調製方法。

【請求項25】

工程i)に由来する前記界面活性剤及び工程iii)に由来する前記界面活性剤が、同じ性質である、請求項24に記載の調製方法。

【請求項26】

請求項1から22のいずれか一項に記載の化粧用組成物の調製方法であって、少なくとも、

i) HLBが3から7の間であり、800を上回る分子量を有する高分子界面活性剤の少なくとも1つの有効量によって安定化された、水溶性天然染料又は天然由来染料を含む、中間体エマルジョンを提供する工程、
ii) 化粧品基材を提供する工程、
iii) HLBが3から7の間であり、800を上回る分子量を有する少なくとも1種の高分子界面活性剤の更なる量及び疎水性シリカエアロゲル粒子から選ばれる少なくとも1つの特定のフィラーの少なくとも1つの有効量を提供する工程、
iv) 工程i)に由来する前記中間体エマルジョンと、工程iii)に由来する前記特定のフィラーと、工程ii)に由来する前記化粧品基材とを一緒にする工程
で構成される工程を含み、
前記一緒にする工程iv)は、1回の操作で実行することができ、又は連続的工程を介して実行することができる、調製方法。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0286

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0286】

【表8】

スティック用リップスティックベース E

INCI 名	商業的参照名	供給業者	(%) 質量基準
本調製例に従うアントシアニン抽出物のエマルジョン		Vitiva 社	15*
オクチルドデカノール	ISOFOL 20 N/F	Sasol 社	16
ペトロラタム	ULTIMA WHITE PET USP	CALUMET SPECIALTY 社	12
ビスジグリセリルポリ アシルアジペート-2	SOFTISAN 649	CREMER OLEO 社	<u>8</u>
リンゴ酸ジイソステア リル	SCHERCEMOL DISM ESTER	LUBRIZOL 社	<u>3</u>
BUTYROSPERMUM PARKII BUTTER	LIPEX SHEA	AarhusKarlshamn 社	<u>4</u>
ポリブテン	INDOPOL H 100	INEOS 社	23
ポリエチレン	PERFORMALENE 500-L POLYETHYLENE	NEW PHASE TECHNOLOGIES 社	<u>7</u>
HDI/トリメチロールヘ キシルラクトンクロス ポリマー	PLASTIC POWDER D 400	東色ピグメント株式会社	<u>2</u>

* 市販製品の総質量によって表されている